

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ネ ク ス
代 表 者 名 代表取締役社長 秋山 司
(JASDAQ・コード 6634)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 代表取締役副社長 石原 直樹
電 話 03-5766-9870

第三者割当による新株式発行及び

第 4 回無担保転換社債型新株予約権付社債払込完了に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 10 月 30 日開催の取締役会において決議いたしました、第三者割当による新株式の発行及び転換社債型新株予約権付社債の発行について、本日、各割当先からの払込が完了しましたので、お知らせいたします。

記

I. 第三者割当による新株式発行及び第 4 回無担保転換社債型新株予約権付社債発行

1. 新株式発行募集の概要

(1) 発行新株式数	普通株式 686,200 株
(2) 発行価額	1 株につき 419 円
(3) 発行価額の総額	287,517,800 円
(4) 資本組入額	1 株につき 210 円
(5) 資本組入額の総額	144,102,000 円
(6) 払込期日	平成 26 年 11 月 17 日
(7) 募集又は割当方法	第三者割当

(割当先)	Brillance Hedge Fund (35,700 株) Brillance Multi Strategy Fund (107,300 株) Brillance Strategic Partners Fund (35,700 株) サンポー食品株式会社 (47,700 株) 株式会社大古會 (71,500 株) 株式会社ベイビーブラックス (22,600 株) ネクス M2M 投資事業組合 (45,300 株) KST トラストファンド投資事業組合 (66,800 株) M2M トラスト投資事業組合 (40,500 株) IT トラスト投資事業組合 (40,500 株) YT トラスト投資事業組合 (45,300 株) 投資事業組合 F ターゲットファンド (105,000 株) 投資事業組合 S ターゲットファンド (14,300 株) 武田将宣 (2,000 株) 古賀勝 (2,000 株) 城丸修一 (2,000 株) 吉元麻衣子 (2,000 株)
(8) その他	上記各号については、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力が発生することが条件になります。

2. 新株式の発行による発行済株式総数及び資本金の額の推移

(1) 増資前発行済株式総数	11,630,800 株 (増資前の資本金の額 1,068,146,438 円)
(2) 発行新株式数	686,200 株 (増加する資本金の額 144,102,000 円)
(3) 増資後発行済株式総数	12,317,000 株 (増資後の資本金の額 1,212,248,438 円)

3. 第4回無担保転換社債型新株予約権付社債の概要

(1) 払込期日	平成 26 年 11 月 17 日
(2) 新株予約権の総数	815 個
(3) 社債及び新株予約権の発行価額	本社債の額面金額 100,000,000 円と 15,000,000 円の 2 種 本社債の発行価額 本社債の額面金額 100 円につき 100 円 本社債に付された新株予約権の数 額面 1,000,000 円あたり 1 個 本新株予約権と引換えに金銭の払込を要しない。
(4) 当該発行による潜在株式数	1,944,600 株
(5) 資金調達額	815,000,000 円
(6) 行使価額 (又は転換価額)	419 円
(7) 行使期間	平成 26 年 11 月 17 日から平成 29 年 11 月 16 日 発行時から平成 27 年 11 月 16 日までの間は、東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値 (以下「終値」という。) が、割当日の終値 (当日に終値がない場合は、それに先立つ直近日の終値) の金額に 1.5 を乗じた金額 (629 円) を超過した日以降でなければ本付属新株予約権の行使はできない (終値の小数点以下は切上げ)。
(8) 募集又は割当方法	第三者割当

(割当先)	第三者割当の方法により、MARVEL TIME GLOBAL LIMITEDに260,000,000円（額面100,000,000円の本社債2個、15,000,000円の本社債4個）、Brillance Hedge Fundに45,000,000円（額面15,000,000円の本社債3個）、Brillance Multi Strategy Fundに120,000,000円（額面15,000,000円の本社債8個）、Brillance Strategic Partners Fundに60,000,000円（額面15,000,000円の本社債4個）、株式会社フィスコに200,000,000円（額面100,000,000円の本社債2個）、アマノ本部株式会社に100,000,000円（額面100,000,000円の本社債1個）、深海 康史に30,000,000円（額面15,000,000円の本社債2個）を割り当てる。
(9) 償還価額	各本社債の額面100円につき金100円
(10) その他	上記各号については、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力が発生することが条件になります。

4. 手取り金の使途及び今後の見通しについて

資金使途につきましては、

- ① 今後急速な市場拡大が見込まれるM2M分野において、確固たるシェアを確保するため、継続的且つタイムリーに新製品を市場に投入する為の開発費に使用します。当該開発費は、来期以降に市場に投入を予定している4種の新製品の開発費に充当致します。今後着手する新たな商品開発の為の開発外注費および認証費用を含むその他費用として約360百万円、その他検査機器等への投資、量産に向けた設備設計や金型設計等の外注費、エンジニアリングサンプル、プリプロダクションサンプル等のサンプル品の費用、及び作成に当たるイニシャル費用（治具、工具等の購入や、検査機器購入やリース費用、検査の為の環境整備（レンタルルーム等）、金型作成、出張費等になります。）として約140百万円を使用する予定です。
- ② 前述した4種の開発製品は、海外の提携企業にてODM※を行い、ODM先で量産された完成品を当社が仕入れたうえで販売を行います。そのうち、一部製品については、現時点で顧客より具体的な受注見込みをうけております。安定的に多くの受注を受ける見通しのため、昨今の円安の動向や大量発注による原価低減、またタイムリーに顧客のニーズに応えるために、受注見込みを受けている製品の一括仕入を行なうため297百万円を予定しています。
- ③ M2M分野の事業垂直統合における拡大戦略を実施していく上で、既存事業とシナジー効果がある企業との業務提携及びM&Aを検討しており、その際に新製品の共同研究開発や株式取得等にておよそ300百万円の拠出が必要になる可能性があるから、本資金の使用を予定しております。また業務提携及びM&Aに資金が充当されなかった場合は、②記載の製品の一括仕入れ資金及び翌期以降の開発資金へ充当する予定です。

本第三者割当増資による平成26年11月期の当社業績に与える影響は軽微であると判断しておりますが、今後影響を与える事象が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上